

改善前の梱包作業



部品ごとにエアキャップを巻き、緩衝材で隙間埋めをして梱包。

部品を1つずつエアキャップで巻く為、1梱包あたりの作業が多く時間がかかる。

部品は1つあたり約3.5kgある為、作業を繰り返す事で肉体的負担も大きくなる。

また作業者の熟練度により作業内容や時間に大きな差がでてしまい、巻き直し作業も多い。

隙間を緩衝材で埋める必要がある為、さらに作業が増えてしまい、使用する資材も増える。

・作業時間：約 20 分

改善後の梱包作業



本体トレイ + 蓋トレイにて梱包。

部品を収納部に置くだけなので作業が容易。

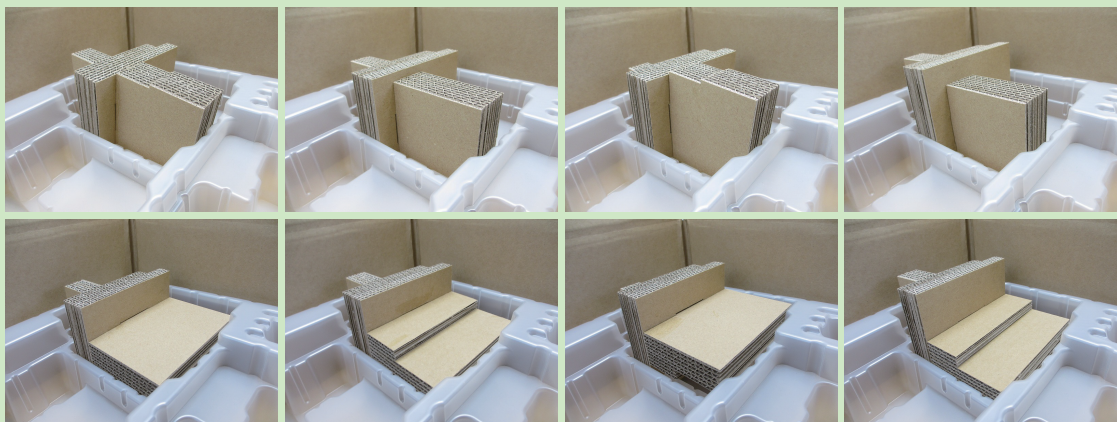
部品を持ち上げている時間が減った事で、作業者の肉体的負担も低減。

トレイ化により隙間埋めの緩衝材が必要なくなり、資材の使用量が削減された。

付属品の収納場所を蓋トレイに設けることにより、入れ忘れた場合に上から一目で分かる。

・作業時間：約 7 分 約 63%短縮

部品8種の共用化



部品の同形状部分をベースに8種類すべてを同じ向きで収納できる様、収納部形状を調整することで、部品の種類ごとに置き方を迷う事なく、スムーズに作業できるトレイとなっている。